

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

9:41

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第21854報)

2020年12月24日 9時33分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 本日08時09分頃、プロセス主建屋にて漏えい警報を確認したことから、現場確認を行ったところ、09時08分にプロセス主建屋西側通路に水溜まりがあることを当社社員が確認しました。</p> <p>状況は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発見時刻 09時08分頃 ・発生場所(設備名称) プロセス主建屋1階西側通路 ・漏えい箇所 確認中 ・発見者 当社社員 ・漏えい範囲 2m×10mの範囲に点在 ・漏えい継続の有無 確認中(付近の配管等からの漏えい無し) ・外部への影響 なし <p>なお、念のため、8時39分にサリーIIを停止いたしました。 また、プロセス主建屋で発生した漏えい警報については、8時40分にクリアしております。 現在、現場状況を確認しており、状況が分かり次第お知らせします。</p> <p>【公表区分：C】</p> <p>※添付の有り・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

12:52

1/1

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第21855報)

2020年12月24日12時46分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき, 応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	(対応日時, 対応の概要) 21854報にてお知らせした、プロセス主建屋水溜まり確認について、その後の状況をお知らせします。 水溜まりのスミヤ測定の結果は、バックグラウンド300cpmに対し、400cpmであることを確認しました。 今後、水溜まりの拭き取りを行い、準備が整い次第サリーIIの起動を行い、漏えい有無の確認を行います。 追加情報については状況が分かり次第お知らせします。 【公表区分：C統】 ※添付の有り・無し
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

14:44

様式0-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第21856報)

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

2020年12月24日 14時30分

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<ul style="list-style-type: none"> ・プラント関連パラメータ [12月24日11時00分現在] ・サブドレン等 分析結果 [採取日 12月23日] ・集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 [採取日 12月23日] ・構内排水路 分析結果 [採取日 12月23日] ・護岸地下水観測孔 分析結果 [採取日 12月21日、23日] ・海水分析結果<港湾内、放水口付近> [採取日 12月23日] ・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。 ・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。 ・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。 <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクKの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、12月25日に排水を実施します。 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果 [採取日 12月13日] <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の(有り)・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2/11

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2020年12月24日 11:00現在

(重要事項)
各計測器については、地震やその他の事故直後の影響を受けて、通常の使用は計測データを返さないものもあり、正しく測定されていない可能性のある計測器も存在している。返っていない状態を把握するために、このような計測の不確かさを考慮したうえで、返りの計測値から得られる情報を活用して変化の傾向にも留意して総合的に判断している。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 1.4 m ³ /h CS系: 1.5 m ³ /h (12/24 11:00 現在)	給水系: 1.4 m ³ /h CS系: 1.4 m ³ /h (12/24 11:00 現在)	給水系: 1.3 m ³ /h CS系: 1.5 m ³ /h (12/24 11:00 現在)	
原子炉圧力容器底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 18.1 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 18.0 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 17.9 °C (12/24 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 22.0 °C RPV温度 (TE-2-3-69R): 19.9 °C (12/24 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1): 22.6 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 21.1 °C (12/24 11:00 現在)	
原子炉格納容器内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 18.2 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 18.0 °C (12/24 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 22.5 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1): 22.0 °C (12/24 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A): 23.0 °C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 20.7 °C (12/24 11:00 現在)	
原子炉格納容器圧力	143 kPa g (12/24 11:00 現在)	396 kPa g (12/24 11:00 現在)	041 kPa g (12/24 11:00 現在)	
窒素封入流量 ※3	RPV (RVH-A): - Nm ³ /h (RVH-B): 15.43 Nm ³ /h (JP-A): 15.28 Nm ³ /h (JP-B): - Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (12/24 11:00 現在) ※4	RPV-A: 6.52 Nm ³ /h RPV-B: 6.71 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (12/24 11:00 現在) ※4	RPV-A: 8.28 Nm ³ /h RPV-B: 8.66 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (12/24 11:00 現在) ※4	
原子炉格納容器ガス管理システム排気流量	21.9 m ³ /h (12/24 11:00 現在)	14.60 Nm ³ /h (12/24 11:00 現在)	18.90 Nm ³ /h (12/24 11:00 現在)	
原子炉格納容器水素濃度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol% (12/24 11:00 現在)	A系: 0.03 vol% B系: 0.03 vol% (12/24 11:00 現在)	A系: 0.14 vol% B系: 0.12 vol% (12/24 11:00 現在)	
原子炉格納容器放射能濃度 (Xe135) ※2	A系: 指示値 8.30E-04 Ba/cm ³ 検出限界値 3.50E-04 B系: 指示値 1.07E-03 Ba/cm ³ 検出限界値 3.20E-04 (12/24 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.4E-01 Ba/cm ³ B系: 指示値 ND 検出限界値 1.3E-01 Ba/cm ³ (12/24 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 2.0E-01 Ba/cm ³ B系: 指示値 ND 検出限界値 1.9E-01 Ba/cm ³ (12/24 11:00 現在)	
使用済燃料プール水温度	- °C (12/24 11:00 現在) ※6	19.6 °C (12/24 11:00 現在)	16.2 °C (12/24 11:00 現在)	- °C (12/24 11:00 現在) ※5
FPC注水ポンプの水位	- m (12/24 11:00 現在) ※6	4.21 m (12/24 11:00 現在)	4.05 m (12/24 11:00 現在)	27.4 X100mm (12/24 11:00 現在)

【注】※1: 原子炉格納容器内温度は、原子炉格納容器内温度計で測定している。水素濃度は、原子炉格納容器内水素濃度計で測定している。
※2: 放射能濃度は、原子炉格納容器内放射能濃度計で測定している。放射能濃度は、原子炉格納容器内放射能濃度計で測定している。
※3: 窒素封入流量は、原子炉格納容器内窒素封入流量計で測定している。
※4: 窒素封入停止中
※5: 4号機格納容器プール水位計一次系ポンプ停止直後
※6: 作業者計測エラー

3/11

2020年12月24日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

サブドレン等 分析結果 (Y)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1号機サブドレン	2020/12/23 07:45	< 5.5E+00	< 8.8E+00	9.2E+01
2号機サブドレン	2020/12/23 07:39	< 1.3E+01	5.9E+01	1.5E+03
3号機サブドレン	2020/12/23 07:30	< 4.6E+00	< 5.5E+00	< 4.4E+00
4号機サブドレン	2020/12/23 07:46	< 4.6E+00	< 5.3E+00	< 4.8E+00
5号機サブドレン	—	—	—	—
6号機サブドレン	—	—	—	—
楯内深井戸	—	—	—	—

- ・核種の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)
- ・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
- ・O.OE±Oとは、 $O.O \times 10^{±O}$ であることを意味する。
(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31、3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1、3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

4/11

2020年12月24日
 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー

集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 (γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
4号T/B建屋南東	2020/12/23 07:46	< 4.6E+00	< 5.3E+00	< 4.8E+00
プロセス主建屋北東	2020/12/23 07:40	< 5.3E+00	< 4.8E+00	< 4.1E+00
プロセス主建屋南東	2020/12/23 07:35	< 4.2E+00	< 4.5E+00	< 4.5E+00
雑固体廃棄物減容処理建屋南	2020/12/23 07:20	< 4.1E+00	< 5.1E+00	< 4.4E+00
サイトバンカ建屋南西	—	—	—	—
焼却工作建屋西側	2020/12/23 07:15	< 5.5E+00	5.0E+00	6.5E+01
雑固体廃棄物減容処理建屋北	2020/12/23 07:25	< 4.9E+00	< 3.0E+00	< 3.8E+00
サイトバンカ建屋南東	2020/12/23 07:30	< 4.5E+00	< 3.5E+00	< 4.2E+00

・核種毎の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (< : 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・O.OE±Oとは、 0.0×10^{00} であることを意味する。

(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31、 $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1、 $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

・サイトバンカ建屋南西は、1回/週程度の頻度で分析を実施。

5/11

2020年12月24日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

構内排水路 分析結果 (全β・γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2020/12/23 07:10	5.2E+00	< 4.7E-01	2.8E+00
物揚場排水路	2020/12/23 07:15	< 2.7E+00	< 3.9E-01	8.5E-01
K排水路	2020/12/23 06:00	1.0E+01	< 7.5E-01	7.5E+00
BC排水路	2020/12/23 06:00	< 3.1E+00	< 5.8E-01	< 7.3E-01
5,6号構排水路※1	—	—	—	—

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
- ・O.OE±Oとは、 $0.0 \times 10^{±0}$ であることを意味する。
- (例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31, $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1, $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。
- ・採取当日の降雨量は0 mm
- ・排水路流量情報は、解析中のため後日公表する。
- ※1 5,6号構排水路は1回/月に分析を実施。

6/11

2020年12月24日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原発推進カンパニー

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(1/2)

観測地点	採取日時	分析項目										塩素 (ppm)
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)		
No.0-1	2020/12/21 08:45	1.2E+02	1.1E+04	< 2.5E+00	< 2.2E+00	< 1.9E+01	< 6.7E+00	< 3.4E+00	3.2E+01	—	—	
No.0-1-2	2020/12/21 08:40	2.0E+01	1.2E+04	< 3.2E-01	< 3.7E-01	< 3.9E+00	< 1.9E+00	< 5.3E-01	5.5E+00	—	—	
No.0-2	2020/12/21 08:25	2.5E+01	2.9E+02	< 3.0E-01	< 3.4E-01	< 3.0E+00	< 1.0E+00	< 3.2E-01	3.2E+00	—	—	
No.0-3-1	2020/12/21 08:35	1.8E+01	< 1.0E+02	< 2.4E-01	< 2.6E-01	< 2.1E+00	< 7.5E-01	< 3.7E-01	1.1E+00	—	—	
No.0-3-2	2020/12/21 08:30	7.8E+01	2.2E+04	< 3.1E-01	< 3.7E-01	< 3.3E+00	< 1.2E+00	< 3.3E-01	1.4E+00	—	—	
No.0-4	2020/12/21 08:30	1.5E+01	1.1E+04	< 3.3E-01	< 3.8E-01	< 3.5E+00	< 1.3E+00	< 3.6E-01	3.1E+00	—	—	
No.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.1-5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.1-8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.1-9 #1	2020/12/21 08:25	2.5E+02	7.2E+02	—	—	—	—	—	—	7.6E+01	—	
No.1-11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.1-12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.1-14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.1-16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.1-17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

・塩素毎の半減期：H-3(約12年)、Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sb-125(約3年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不検出 (< 小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・O.E±Oとは、O.O×10⁰であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31、3.1E+00は3.1×10⁰で3.1、3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

・H-3以外は既に知らせ済み。

※ No.1-9は、採水経による採取であるため、Y測定は実施せず。全βは参考値としての過剰に測定。

7/11

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(2/2)

観測地点	採取日時	分析項目												
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)				
1,2号観測ポイント 汲み上げ水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2	2020/12/21 07:30	2.3E+02	3.0E+02	< 2.7E-01	< 2.6E-01	< 2.4E+00	< 8.3E-01	< 2.7E-01	< 2.7E-01	< 2.4E+00	< 8.3E-01	< 2.7E-01	7.4E-01	-
No.2-2	2020/12/21 08:05	1.3E+02	5.3E+02	< 1.4E+00	< 2.6E+00	< 1.6E+01	< 4.6E+00	< 1.7E+00	< 1.7E+00	< 1.3E+00	< 4.6E+00	< 1.7E+00	3.4E+01	-
No.2-3	2020/12/21 08:09	4.1E+04	6.1E+03	< 3.3E-01	< 3.1E-01	< 3.4E+00	< 1.3E+00	< 3.6E-01	< 3.6E-01	< 1.3E+00	< 3.6E-01	< 3.6E-01	8.3E+00	-
No.2-5 *2	2020/12/21 08:14	5.0E+04	1.8E+03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-7	2020/12/21 07:25	4.5E+02	8.6E+02	< 2.4E-01	< 2.5E-01	< 2.2E+00	< 7.6E-01	< 2.4E-01	< 2.4E-01	< 2.2E+00	< 7.6E-01	< 2.4E-01	1.6E+00	4.9E+02
No.2-8	2020/12/21 07:20	3.7E+03	4.6E+02	< 2.5E-01	< 2.5E-01	< 2.2E+00	< 7.5E-01	< 2.5E-01	< 2.5E-01	< 2.2E+00	< 7.5E-01	< 2.5E-01	8.9E-01	-
2,3号観測ポイント 汲み上げ水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-5 *2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3,4号観測ポイント 汲み上げ水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

・ 検出限界未満 (ND) を表す。
 ・ 不等号 (<) は、検出限界未満 (ND) を表す。
 ・ 測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
 ・ O.OE±Oとは、 $O.O \times 10^{\pm O}$ であることを意味する。
 (例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31、 $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1、 $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。
 ・ H-3以外は既にお知らせ済み。
 ※ No.2-5、No.3-5は、汲み上げ水による採取であるため、Y測定は実施せず。全βは参考値としての値後に測定。

8/11

2020年12月24日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(1/2)

観測地点	採取日時	分析項目									
		全β (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)		
No.0-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-1-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-9 ^{※1}	2020/12/23 07:03	2.5E+02	-	-	-	-	-	-	-	-	7.7E+01
No.1-11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

・検出限の半減期：Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sr-125(約3年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)
 ・不検出 (< 小なり) は、検出限界未満 (ND) を意味する。
 ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
 ・O.O.E.とは、 0.0×10^0 であることを意味する。
 (例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31、 $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1、 $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。
 ※1 No.1-9は、現段階による採取であるため、γ測定は実施せず。全βは参考値としての過後に測定。

9/11

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	分析項目										
		全β (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	その他放射線種 Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)			
1,2号観測ポイント 汲み上げ水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-5 ※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-6	2020/12/23 07:10	5.2E+02	< 2.5E-01	< 2.5E-01	< 2.0E+00	< 8.7E-01	< 2.6E-01	< 3.2E-01	-	-	-	-
No.2-7	2020/12/23 07:13	4.9E+02	< 2.9E-01	< 3.7E-01	< 2.2E+00	< 1.1E+00	< 4.6E-01	3.1E+00	4.9E+02	-	-	-
No.2-8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2,3号観測ポイント 汲み上げ水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-5 ※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3,4号観測ポイント 汲み上げ水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

・採掘時の半減期：Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sb-125(約3年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<)：小さなD)は、検出限界未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.E±Oとは、O.O×10^{±O}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31、3.1E+00は3.1×10⁰で3.1、3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

※2 No.2-5、No.3-5は、浄水器による採取であるため、精度は異なるとして別途に測定。

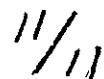
10/11

2020年12月24日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<港湾内, 放水口付近> (全β・γ)

試料名称	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2020/12/23 07:30	—	< 8.4E-01	< 5.0E-01
1F 6号機取水口前	2020/12/23 07:39	< 1.3E+01	< 6.7E-01	< 5.1E-01
1F 物揚場前	2020/12/23 07:05	1.4E+01	< 5.3E-01	< 4.2E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2020/12/23 07:05	< 1.3E+01	< 5.0E-01	1.2E+00
1F 1~4号機取水口内南側 (溢水壁前)	2020/12/23 07:10	< 1.3E+01	< 3.7E-01	2.1E+00
1F 南放水口付近 (T-2)	2020/12/23 06:42	1.3E+01	< 8.9E-01	< 5.9E-01
1F 港湾口 (T-0)	2020/12/23 06:42	< 1.3E+01	< 6.2E-01	< 4.6E-01
1F 港湾中央	2020/12/23 06:38	1.4E+01	< 4.2E-01	< 4.0E-01
1F 港湾内東側	2020/12/23 06:40	< 1.4E+01	< 2.8E-01	< 3.0E-01
1F 港湾内西側	2020/12/23 06:36	< 1.4E+01	< 2.7E-01	< 2.9E-01
1F 港湾内北側	2020/12/23 06:34	< 1.4E+01	< 2.6E-01	< 3.0E-01
1F 港湾内南側	2020/12/23 06:44	< 1.4E+01	< 2.5E-01	< 3.0E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	—	—	—	—
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	—	—	—	—
1F 港湾口東側 (T-0-2)	—	—	—	—
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	—	—	—	—
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	—	—	—	—
告示濃度限度 ^{*1}			6.0E+01	9.0E+01
WHO飲料水水質ガイドライン			1.0E+01	1.0E+01

・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
 ・不等号 (<) は、検出限界値未満 (ND) を表す。
 ・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。
 ・0.0E±0とは、0.0×10^{±0}であることを意味する。
 (例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。
 ・物揚場前は、シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。
 ※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度
 (別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])



2020年12月24日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果

試料名称	採取日時	貯水量 (m ³)	分析機関	分析項目				その他 Y核種
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	
一時貯水タンク (サンブルタンク)	K 2020/12/13 07:07	820	東京電力	< 2.0E+00	9.0E+02	< 7.4E-01	< 6.9E-01	検出なし
			東北緑化環境保全(株)	4.2E-01	9.5E+02	< 7.8E-01	< 6.3E-01	検出なし
運用目標				3.0E+00 (1.0E+00) ※1	1.5E+03	1.0E+00	1.0E+00	検出されないこと※2
告示濃度限度※3				/	6.0E+04	6.0E+01	9.0E+01	/
WHO飲料水水质ガイドライン				/	1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01	/

・核種毎の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・O.OE±Oとは、O.O×10^{±0}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

※1 運用目標の全βについては、10日に1回程度、検出限界値を1 Bq/Lに下げて分析を実施。

※2 Cs-134, Cs-137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。

※3 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

16:54

1/1

様式9-1(1/3)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第21857報)

2020年12月24日 16時50分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 第21854報にてお知らせした、プロセス主建屋水溜まり確認について、その後の状況をお知らせします。</p> <p>水溜まりの拭き取りを行い、8時39分に停止したサリーIIについては、15時29分に起動致しました。サリーII起動後の現場確認において、漏えい等の異常は確認されませんでした。</p> <p>引き続き現場の状況について監視致します。</p> <p>【公表区分：C統】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有り・無し

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

17:42

様式 9-1 (1/2)
(第21858報)

応急措置の概要 (原子炉施設)

2020年12月24日 17時31分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	(対応日時, 対応の概要) 第21851報でお知らせしたとおり、サブドレン他水処理施設一時貯水タンクCに貯水していた水について、本日以下のとおり排水を実施しました。 ・排水開始 : 11時20分 ・排水終了 : 15時39分 ・排水量 : 642 m ³ 排水状況については、漏えい等の異常がないことを確認しております。 【公表区分: E】
その他の事項の対応(注3)	※添付の有り <input checked="" type="radio"/> 無し

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。